

事務事業名		大船渡ポートサイド女子マラソン大会運営支援事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																								
政策体系	政策名	0:6:豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 06 01 03																							
	施策名	2:9:生涯スポーツの振興																											
	基本事業名	0:3:スポーツ・レクリエーション活動の振興																											
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和63 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																								
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課																											
	係 名	体育振興係	電話 内線	27-3111 275																									
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・当市出身で、1984年開催のオリンピック・ロサンゼルス大会で初めて開催された女子マラソンに日本代表として出場した、故永田七恵 (旧姓:佐々木) 氏を顕彰し、スポーツの振興と体力の向上、健康の増進を図り、活力のあるまちづくりに貢献する。 ・市の事務は、主催団体の一員として大会実行委員会 (事務局:大船渡市体育協会) への参加、コース設定に係る警察折衝、実行委員会事務局の運営補助、当日の大会運営全般へ携わる。 ・事業費は、大会実行委員会への補助金である。																													
全体計画 (※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計 (A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
延べ業務時間																													
人件費計 (B)		0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 実行委員会、企画運営委員会の開催 (各2回)、警察折衝、要項・参加通知・記録の発送、駐車場等の借上げ、プログラムの作成、審判員への連絡、各種物品の手配、広報、開催周知等の大会運営、競技運営全般を行う。 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ。		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 実行委員会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 実行委員会開催回数	回	イ		ウ	
		名称	単位							
		ア 実行委員会開催回数	回							
		イ								
ウ										
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 一般市民 (女性) 市外マラソン愛好家 (女性)		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 募集要項発送数</td> <td>通</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 募集要項発送数	通	キ		ク	
		名称	単位							
		カ 募集要項発送数	通							
		キ								
ク										
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) マラソン大会に出場して、競技力が向上される		⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 大会参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 上記のうち市外からの参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 大会参加者数	人	シ 上記のうち市外からの参加者数	人	ス	
		名称	単位							
		サ 大会参加者数	人							
		シ 上記のうち市外からの参加者数	人							
ス										
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) スポーツ・レクリエーションが活発に行われる。										

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	1,800	1,800	1,800	1,600	1,600	1,600
			事業費計 (A)	千 円	1,800	1,800	1,800	1,600	1,600	1,600
	人件費	正規職員従事人数	人	7	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	1,500	400	400	400	400	400	
		人件費計 (B)	千 円	6,000	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	7,800	3,400	3,400	3,200	3,200	3,200	
⑤活動指標			ア	回	2	2	2	2	2	2
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	通	1199	1305	1646	2271	2754	2452
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	人	426	381	371	335	349	328
			シ	人	178	123	140	113	130	234
			ス							

事務事業ID	1009	事務事業名	大船渡ポートサイド女子マラソン大会運営支援事業
--------	------	-------	-------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

1984年のオリンピック・ロサンゼルス大会出場者である佐々木七恵氏を顕彰するため、および、それに続く女性ランナーの発掘・養成等を目的に1988年から開催している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・平成18年度からの指定管理者制度の導入に伴い、本大会の運営を指定管理業務とし、その受託者である大船渡市体育協会が大会事務局業務を行っている。
- ・開催日については、参加者を確保するためには学校行事等との調整が重要になってきており、コース設定等についても警察当局の指導が厳しくなってきたり、大会運営が厳しくなっている。
- ・記録集計の迅速化及び競技役員配置の効率化を図るため、19年度の大会からRCチップによる記録集計の自動化を図った。それに伴い、コストが増加したことから、高校生以下の参加者から、一人500円の参加料を徴収した。21年度はさらに集計の正確性を期すため、RTタグを使用した。
- ・平成22年度から、開催時期をこれまでの11月開催から、9月開催へ変更した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・大会参加者からは、女子に限定したマラソンは、本大会の特色であり、今後の継続開催を望む声が大きくある。
- ・市陸上競技協会からは、中学生男子等の出場機会がないので、男子にも開放して欲しいとの声も寄せられている。
- ・大会関係者からは、東北高校学校駅伝競走大会(近年、隔年で当市で開催)の開催時期が同じ11月であることから、開催時期について見直しを求める意見もある。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] → 陸上競技(マラソン・駅伝)の普及・振興を図ることによって、スポーツ・レクリエーション活動の振興に寄与している。 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] → 大船渡市出身の佐々木七恵氏を顕彰することをきっかけに、マラソンの普及・振興、市の地域活性化に寄与することから、市が関与することが適切である。 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 適切である ⇒ [理由] → 女子参加者を確保するため、男子の出場を含めた大会運営を検討するなどの余地がある。 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由] → 男子の出場を認めることにより、成果拡大の余地があるが、大会の意義や競技運営上(競技時間、ゴールの運営)の問題について検討を要する。 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] → 七恵さんのこれまでの功績を知る人が少なくなる。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) 新春四大マラソン大会、市民体育大会との統合 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] → 過密な競技スケジュールのため、種目を増やすことで、道路使用許可が下りにくい。規模が大きくなるに伴い競技運営の体制が整わないなど多くも問題があるが、それらを解決した上で統合していく。 ☐ 他に手段がない ⇒ [理由]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 事業費を削減した場合、これまでのサービスを維持できず、参加者の減少、市のイメージ低下につながる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 陸上競技関係者や体育協会加盟の単位協会からのボランティアにより競技運営がなされていることに加え、平成18年度より指定管理者制度を導入したことから、これ以上の人件費削減は困難であると考え。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] → 各参加者から参加料を徴収しているため、受益者負担は公平・公正であると考え。

事務事業ID	1009	事務事業名	大船渡ポートサイド女子マラソン大会運営支援事業
--------	------	-------	-------------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 記録集計の自動化により、おおむね順調に大会が運営された。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☒ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 男子の参加を認めることにより、目的・成果の拡充が図られる。ただし、大会の意義等について、十分検討する必要がある。 新春四大マラソン等との統合を図る。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 参加者の拡大・他大会との統合を図る場合には、道路使用の関係上、大会関係者と警察との協議を十分に行う必要がある。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(3) 評価結果の根拠と理由 女子に参加を限定していくと将来的に参加者の減少が懸念されるが、一方、男子の参加を認めることはこの大会の意義・特徴が曖昧になる心配もある。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 継続して事務事業を実施するが、参加者の拡大のために男子の参加も検討していく。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
